

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年4月15日（金）

2 確認箇所

G4北タンクエリア、G5タンクエリア

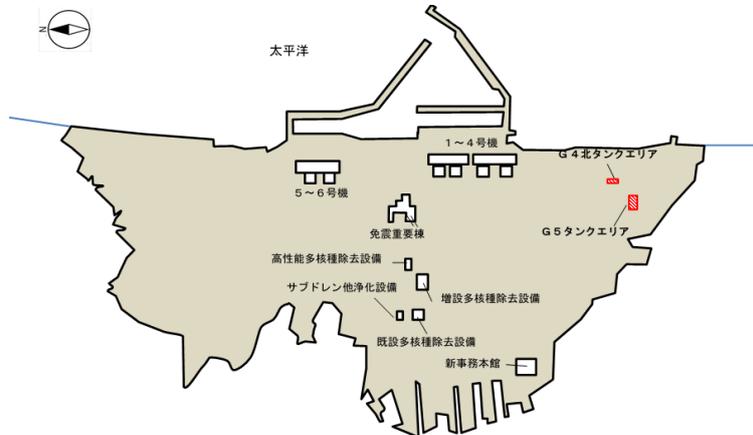
3 確認項目

G4北タンクエリア及びG5タンクエリアにおける溶接型タンク設置工事の進捗状況

4 確認結果の概要

東京電力では多核種除去設備処理水の海洋放出にあたり、K4タンク群の用途を変更して放射能濃度の測定、評価用の設備を新たに構築することとしている。K4タンク群を用途変更することに伴う代替として、G4北タンクエリア及びG5タンクエリアに多核種除去設備処理水等を保管する溶接型タンクを設置する工事が令和3年7月から開始されていたが、同年12月に溶接作業中の作業員の熱傷災害が発生したことから一時作業が中断されていた。今年1月から再発防止対策が実施され、作業が再開されたことから、進捗状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年3月3日](#)）

- ・ G4北タンクエリアでは、全6基のタンクが設置、塗装されており、堰の設置も進捗していた。（写真1）現場では配管の敷設作業が行われていた。（写真2）
- ・ G5タンクエリアにおいて作業は行われていなかったが、全17基中13基のタンクで設置、溶接、塗装まで完了しており、4基のタンクで溶接の作業途中であった。（写真3）（写真4）また、タンク連結管の設置作業、堰の設置作業が進められている状況だった。
- ・ 確認した範囲では3月16日福島県沖地震の影響は見られなかった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
G4北タンクエリアの状況
(前回(3月3日)南西側から撮影)



(写真1-2)
同左
(今回(4月15日)南西側から撮影)



(写真2)
配管の敷設状況



(写真3-1)
G5タンクエリアの状況
(前回(3月3日)南東側から撮影)



(写真3-2)
同左
(今回(4月15日)南東側から撮影)



(写真4)

G5タンクエリアタンク内部の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。